

西陣の2040年をともに描く！ 学生×地域による未来想像プログラム

未来を考えるとどうなる？ 地域での暮らしはこれからどうなっていくの？

町家オープンカレッジ・プラスは、2040年の西陣エリアのこれからの可能性を描き、描いた未来像を題材にさまざまな企業や地域の人と対話しながら、みんなで今なにができるのかを手繰り寄せていく中で、従来型の問題解決ではなく、これまでとは異なる新しい価値を提起する「未来想像」のスキル、マインドセットをはぐむプログラムです。

- ・ 未来を描くやり方を学びたい方
- ・ 地域の課題や社会課題をさまざまな人と議論するためのきっかけづくりを学びたい方
- ・ 将来の仕事のために未来を描くやり方を知りたい方
- ・ 地域の活動やローカルな事業に関心がある方
- ・ サステナビリティや環境問題って難しそうだけど、自分にできることを考えたい方
- ・ 未来想像やフィールドワークにわくわくする方

こんな方を待ってます！



Day1:オリエンテーション 1/10(水) 14:00-19:00

- プログラムの進め方説明
- チームビルディング
- 西陣エリアに関するレクチャー
- 西陣エリアの過去～未来 年表づくり



Day2:リサーチ 1/31(水) 14:00-19:00

- 西陣エリアのリサーチ フィールドワーク・ヒアリング
- 西陣エリアの過去～未来 年表づくり



開催概要・お申し込み

開催場所

町家 学びテラス・西陣 (およびその周辺)

参加費

無料 ※現地への交通費等自己負担

定員

15名 ※最少催行人数12名

申込締切

12月20日(水) 17:00

お申し込みはこちらから



Day3:未来シナリオのデザイン 2/7(水) 14:00-19:00

- リサーチの結果をまとめる
- 西陣エリアの未来を発想する
- 未来のサービスや暮らしのシナリオをデザインする



Day4:プレゼンテーション 2/21(水) 14:00-19:00

- チームごとのプレゼンテーション
- 企業や地域の人たちと描いた未来についてディスカッション
- 学びの振り返り



第1回
昨年の様子
→→→→→



コーディネーター：タナカ ユウヤ
株式会社ツナグム取締役。1984年生まれ。京都産業大学卒業。2015年3月、株式会社ツナグムを創業。人と人、人と場のつながりから新しい事業や幅広いサービスづくりを行う。現在、京都を拠点に複数の事業者への伴走支援、商店街や地域のこれからづくりなどを展開している。

ファシリテーター：川地 真史
Deep Care Lab代表、公共とデザイン共同代表。フィンランドにて行政との地域協働やソーシャルイノベーションの研究を行い、帰国後Deep Care Lab設立。共創を通して、ケアのこころと世界観の変容を促す実践を探索中。畑をやったり、仏様をつくったり。



ファシリテーター：田島 瑞希
Deep Care Lab理事。コンサルティング企業にてサービスデザインを活用した新規事業創出支援に従事。出産・独立後は複業で生駒市役所に勤務しつつ、Deep Care Labで個人欲求を乗り越えまち・環境・未来世代を見据えた利他・利共同体に向かう個人のあり方のソフトチェンジを模索。